



和田の世帯数・人口

世帯数	1,414 戸
人口	4,133 人
男	2,004 人
女	2,129 人

(平成 28.1.1 現在)



年頭のご挨拶

和田地区町会長
会長 松澤 三郎

「あけましておめでとうございませう。」

地区の皆様方におかれましては、よい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、「一年の計は元旦にあり」とは昔から申し古された言葉であります。

この言葉を聞き、口にすると心が引き締まり、何となく明るい希望に満ちた年を迎えたような気持ちになります。

今年も申年ですが「見ざる・聞かざる・言わざる」では物事は前進しません。

「周りをよく見て・人の話をよく聞き・建設的な意見を言う」ことを心がけていければ何事も上手くいくと言われます。

超少子高齢化社会を迎える現実には官民一体での対策が求められています。

和田地区におきましては、できる限り人口減少に歯止めをかけるため、各種団体と一層の連携を図りながら5つの理想ではあります。

1 「住んでよかった和田」

2 「これからも住みたい和田」



和田地区新年祝賀会

3 「健康寿命延伸と子育て支援等福祉の充実した和田」

4 「災害の無い安心・安全な和田」

5 「和田の将来を担う若年パワーで活力ある和田」

の構築を目指し、老若男女が一体となり「より住みやすい地域づくり」の環境整備に時間が掛かっても皆さんと共に一歩でも前進するように取り組んで参りたいと思います。

終わりに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、いっそうのご協力をお願い申し上げます。

挨拶いたします。

成人おめでとう！

将来の夢に向かつて

感謝と目標



私は、松本山雅が大好きで、アルウィンやアウェイにもよく行っています。山雅を通して松本のことがさらに好きになりました。山雅を好きになる前は、東京のテレビ局で働きたいと漠然と思っていました。が、今は出身地である大好きな松本市で、テレビ局だけではなくメディアに関わる仕事をしたいと思っています。そして将来、松本の魅力を沢山の方に伝えられるよう、大学でいろいろなことを学んでいる毎日です。

衣外 上條 麻衣

有意義な年に



私は、大学に入学して、感じたことがあります。それは、大学生は、ただ騒いでいる人が大半であるということですが、私も最初の頃はそうでした。近頃それでは駄目だと感じるようになりました。ですから、20歳という節目を機に、今年の意味のあることをやっていきたいと思っています。

町 福澤 冬野

新成人になって

平成二十八年一月、私は成人式を迎えました。自分がこの時を迎える歳になったことが不思議な感覚です。

高校を卒業して、自分なりに学生気分も抜け、今は、毎日毎日仕事中心の生活になっている気がします。

未成年で許されてきた事、守られてきた事が、これからはなくなりそうです。一人前の社会人として、自分の言動に責任を持ち、何事にも頑張りたいたいと思います。

太子堂 渡邊 恭介

境があったため、私は、高校からウエイトリフティングとができ、現在も続けている。目標は国民体育大会での入賞である。そのことでお世話になった方々に少しでも恩返しができるよう、これからも日々練習に励んでいきたい。

下和田 吉田 佑基



お知らせ

○訂正とお詫び
前号に運動会の作文を寄稿して下さった、境の宮島さんのお名前に間違いがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

晴音(正)↑春音(誤)

○探しています
平成7年に印刷・発行された「和田の歴史」という本を探しています。譲ってもいい本をお持ちの方は、和田公民館(☎48-15445)までご連絡ください。

「鎮守の森ホタル公園」 松本市景観賞の奨励賞受賞

松本市では、景観に対する市民意識の高揚と、良好な景観の形成に向けたまちづくりの活動の推進を図るため、平成元年から景観賞の表彰をしています。今年度、和田水士里の会が中心になって管理している「鎮守の森ホタル公園」(和田神社境内裏)が奨励賞を受賞しました。

【講評】

住民をはじめ、この地域に関わる方々が、身近な自然

そば打ち講習会に参加して

今まで蕎麦は食べる専門でしたが、今回初めて、親子で蕎麦打ち体験をさせていただきました。

正直、素人でも簡単にできるだろうと甘くみていましたが、いざやってみるとなかなか上手いはず、悪戦苦闘しながら講師の方々にも手伝っていただき、何とか形にすることができました。

自分で打った蕎麦を家に持ち帰り、早速試食会を開催しました。極太麺や細麺、長短あり、バラエティ豊かな盛り蕎麦ができました。お(笑)見た目はともかく、おいしくいただきました。

田園風景を守っていきこうという活動の中、地域で失われてしまったホタル舞う風景を取り戻そうと努力されていることを評価しました。

神社の使われていなかった一角をホタル公園にするという事で、ホタルが生息する環境を整備して、そこを地域の方が親しめるような場ともなるように、一から環境づくりが行われており、活動に参加されている方々の熱意が伝わってきました。



鎮守の森
ホタル公園

初めての蕎麦打ち体験でしたが、蕎麦打ちの難しさを肌で感じる事ができました。子供も粘土遊びをするかのようになり、とても貴重な経験となりました。機会があれば是非また参加したいと思います。



そばをほうでのぼしたのがたのしかったです
和田中 たつき(小1)
和松

松澤 秀晃

に、地域のシンボリックな空間として多くの人に使われるようになることを期待します。

和田歌碑公園の碑 その6 矢ヶ崎奇峰

芋を作る

われ此秋も

生きてあり

俳句で、単に「芋」と言えば、里芋を指すが、お孫さんの話によると「祖父は、畑で長芋を作っていて、秋になるとそれを掘って大事そうに家に持ってきた。という話を姑から聞いたことがあるから、芋は長芋のことで、晩年の作だと思ふ。」とのことである。

長芋を作ることに育てる喜びを感じ、健康で今年も頑張れたことに感謝する気持ちが伝わってくる一句である。作者が長年教師であったことを考えると、子供たちを育てた喜び、その子供たちが息災に暮らすことを願う思いもあつたのかも知れない。

矢ヶ崎奇峰は、明治3年(1870年)10月5日、東筑摩郡和田村南和田(現松本市和田)に生まれました。本名は榮次郎。父吉江、母ひろ子の長男で、妹と弟が1人ずついました。

明治10年南和学校に入学し同16年和田学校高等科を卒業

し、同校授業生(補助教員)として教員生活を始めます。同21年長野県尋常師範学校へ入学、同25年に卒業すると、松本小学校の訓導となり

ます。同27年、和田高等小学校に転任。上原三川と知り合います。また、正岡子規との交流も始まります。同29年には、松本に俳句の会「松声会」を起こします。同31年、松本中学校に転任。この年、太田水穂、川崎杜外とともに松本文学同人会を起こします。同32年、大町小学校に転任し、訓導から校長になります。同36年、太田水穂の後任として、郷里和田小学校の校長に任命されます。同37年、南安高家小学校長に転任。ここで上原三川、胡桃沢四沢等とともに、雑誌「は、き木」を刊行します。同45年、愛媛県女子師範学校に赴任。大正5年(1916年)3月に職を辞して上京しますが、同年7月、諏訪郡豊平小学校長として赴任します。その後、同8年に岡谷小学校長、同10年和田小学校長に転任し、昭和5年(1930年)、還暦を期として教育界を退くまで教育者・文筆家として活躍します。

昭和7年には、矢ヶ崎奇峰先生還暦祝賀会発行の「奇峰文集」が発刊されます。同9

年、「歌人内山真弓」を刊行しますが、同23年4月15日、南和田の自宅にて永眠しました。



和田歌碑公園 矢ヶ崎奇峰の碑

編集後記

毎年、年始に今年の目標をとりあえず立ててみる。年度途中、目標は頭から消え去り日々追われる生活を送る...

大晦日が近くなると、急に今年の目標を思い出し、「今年も目標達成できなかったなあ」と反省する。いつかは、目標達成できる時が来るのかな。逆に、目標を忘れるくらい充実した生活が送れているのだと都合良く納得してみませんか? 今、ここに生きていることに、とりあえず感謝ですかね。新しい年も無理なく、自分も周りも大切にして元気に頑張りましょう。

青柳、斉藤、吉村